



釧路市長 蝦名 大也

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒摩周」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、東北海道の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心的な機能を担っております。

釧路市には、大規模な食品・製薬工場や製紙工場のほか、全国唯一の石炭の坑内掘稼行炭鉱を有しており地域の主力産業として地域経済の核となっております。

国内有数の水揚げ量を誇る水産業、豊富な森林資源を有する林業、背後圏の酪農をはじめとする豊かな農業に支えられた、日本の食料基地といえる地域であります。安全・安心で良質な食料の供給体制の形成に努めるとともに、この恵みを与えてくれる自然環境の保全や環境調和型の循環社会実現への取り組みを進めております。

これらの地域産業を支えているのが、国際バルク戦略港湾に選定された釧路港や、ひがし北海道の航空輸送拠点である釧路空港であり、道東自動車道阿寒インターチェンジの開通を始め、現在整備が進められている阿寒インターチェンジ～釧路西インターチェンジ間の完成により、今後、飛躍的に物流機能が高まるものと期待しております。

また、特別天然記念物「タンチョウ」や「阿寒湖のマリモ」をはじめとする世界的にも貴重で魅力あふれる地域資源が豊富にある中、国のプロジェクトである「観光立国ショーケース」及び「国立公園満喫プロジェクト」を中心に、環境と調和した国際観光都市として世界ブランド“くしろ”を発信して参ります。さらには、夏でも最高気温が20度前後と涼しく快適なわが街は、移住・長期滞在にも適した地域であります。

私たちが愛するこの街が、未来へ向けてさらなる発展を続けていくために「自然とまちの魅力が賑わいを創り、活力みなぎる環境・交流都市“釧路”」の実現を目指し、羽ばたきを続けて参ります。